

ダビデの主

ルカによる福音書二〇章41〜47節

このように、ダビデがメシアを主と呼んでいるのに、どうしてメシアがダビデの子なのか。(44)

イエスは人々から「ダビデの子」と呼ばれていました。それはやがて来られるメシアを意味する呼び名でした。イエスへの信仰告白とも言えるこの言葉を主イエスは問題にされました。人々が期待していたメシアとは、圧倒的な力をもって自分たちをローマの支配から解放し、イスラエルの繁栄を取り戻してくれる王でした。人々はイエスを「ダビデの子」と呼ぶことによって、自分たちの望むメシアになることを求めたのです。イエスは、ダビデ自身がメシアを「私の主」と呼んだ詩編を引用して、「ダビデが自分の主と仰いだ者がここにいることを知れ」と宣言されたのです。自分たちの望むメシア像をイエスに押しつけるのではなく、神が遣わされたメシアを「私の主」としなさいという呼びかけでした。私たちも、十字架のイエスを「私の主」として礼拝する者たちでありたいと願います。